

## 1 基本的事項

平成27年度 幸豊ハイツ1998

評価基準	注 釈	判定	
1 利用申込者又はその家族に対し重要事項の説明を行う際、重要事項説明書の他にパンフレットを用意するなど、わかりやすい説明に配慮していますか。		施設案内のパンフレットや入居のしおりを用い、ケアマネージャーや生活相談員によるわかりやすい説明に配慮しています。また、施設内への見学案内も行っており、必ずケアマネージャーや生活相談員、ユニット主任等と一緒に付き添い、詳しい説明を行っています。	○
2 施設見学やわかりやすい資料による説明など、利用申込者の利用決定の判断に役立つ配慮をしていますか。		入居申込者やその家族、見学希望の方に対しては、パンフレット等の資料を用いて説明すると共に施設内を見学して頂いています。	○
3 利用者との契約は契約書を作成して行っていますか。	あらかじめ、契約書（約款）により契約を結ぶことにより、契約関係の適正化を図るとともにサービスの利用に伴うトラブルを未然に防止することができるので、契約書を交わすことが望ましいです。 特に、認知症高齢者の場合、本人が意思表示できないこともあるので、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業などを活用し、適正な契約を結ぶよう配慮することが必要です。	実際に契約書を作成し契約を行っており、意思表示が困難な方においては成年後見人制度を利用して三者契約の形をとっています。	○
4 利用者から契約を解除するための手続きが契約書等に規定されていますか。	不当に長い解約申出期間を設定して、事実上、利用者が契約を解約できないことのないようにしてください。	契約書に明確に規定されています。	○
5 利用者又は事業者から契約を解除することができる事由を定めていますか。	利用者から契約を解除することができる事由としては次のようなものがあります。 ○事業者が正当な理由なくサービスを実施しない場合 ○事業者が守秘義務に違反した場合 ○事業者が利用者又は家族の生命・身体・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為を行う場合 事業者から契約を解除することができる事由としては次のようなものがあります。 ○利用者が一定期間以上利用料を滞納し、相当期間を定めた催告後も滞納している場合 ○利用者が事業者へ著しい不信行為を行う場合	契約書に規定されており、左記の内容に該当する場合には即座に契約を解除する事ができます。	○
6 利用終了に際して、必要な情報の提供やアドバイスを利用者・家族にわかりやすく説明するとともに、次の事業者が選定された際には必要に応じ情報の提供等の連携・調整を図っていますか。	必要な情報やアドバイスには以下のものを含みます。 ○利用者の身体面・心理面の状態 ○生活上の留意点 ○介護の方法・留意点 ○サービスの再利用に関する情報 他の事業者への情報提供時には利用者・家族の同意を得るなどプライバシーに配慮してください。	他の事業所に移られる場合については、介護・看護添書を作成し、情報の提供を行っています。 また、個人情報保護の観点から情報の提供を行う際には、必ず、御家族の同意を得た上で行っています。	○

<p>7 利用者・家族の苦情を受ける窓口があり、速やかに対応するシステムがありますか。 また、その苦情を迅速にサービスの改善につなげていますか。</p>	<p>以下に例示されるような工夫を行ってください。  <input checked="" type="checkbox"/>利用者との懇談（話し合い）の機会を定期的に持ち、苦情・訴えを聞く。  <input checked="" type="checkbox"/>トラブル等があった場合、担当職員ができるだけ早く話を聞くと共に、不満・訴えのある人と個別に話を聞く機会をもつ。  <input checked="" type="checkbox"/>第三者に対する苦情の申立てができる体制になっている。  <input checked="" type="checkbox"/>苦情に応じて、担当職員を交替させるなどの仕組みを持つ。</p>	<p>相談・苦情対策委員会を設置しており、苦情を速やかに受け付け、解決できるシステムを整えています。 また、施設内には、苦情の受付のためのポストを設置しており、口頭だけではなく、文章による申し立ても容易に行えるよう、配慮しています。 また、施設内にポスターの掲示や重要事項説明書に苦情に関する受付窓口を明記しています。</p>	<p>○</p>
<p>8 利用者に関する情報を、適切に記録していますか。</p>	<p>以下に示すような工夫を行ってください。  <input checked="" type="checkbox"/>利用者へのサービス提供を行う際に効率的な記録様式を事業者独自で作成する。  <input checked="" type="checkbox"/>記入方法について統一的な指示を行う。  <input checked="" type="checkbox"/>サービス提供記録、相談・情報提供に関する記録が、統一的に整理されるようにする。  <input checked="" type="checkbox"/>データベース化などにより効率的かつ統一的な記録の整理がなされている。</p>	<p>入居者個別のケース記録や日誌など、記録の様式を全ユニットで統一しサービス提供に関する記録が整っています。 また、ケアプランに沿ったケース記録も行っています。 パソコンの使用によりデータベース化を行っており、資料・統計委員会が中心となって整理しています。</p>	<p>○</p>
<p>9 利用者の記録の保管方法を定めて、それを基に適切な記録を保管していますか。</p>	<p>記録の保管方法については、以下の点を定めてください。  <input checked="" type="checkbox"/>記録の管理責任者  <input checked="" type="checkbox"/>記録の保管期間  <input checked="" type="checkbox"/>記録の保管場所  <input checked="" type="checkbox"/>記録の開示ルール</p>	<p>個人情報保護法に基づき、ケースファイルは過去の五年間分を保存・保管してあり、御家族より希望があればいつでも閲覧できるように配慮しています。 また、開示においては原則として、御家族の同意のもとで行われます。</p>	<p>○</p>
<p>10 利用者の人権への配慮を行っていますか。</p>	<p>以下で示す項目等に留意して工夫を行ってください。  <input checked="" type="checkbox"/>「権利」を成文化してパンフレットを作成し配布したり、機関・施設の利用者に目立つ場所に掲示する。  <input checked="" type="checkbox"/>利用者に関わる情報の取扱いについて、細心の注意を払い、守秘に努めるよう職員に徹底されている。  <input checked="" type="checkbox"/>利用者を「一人の人格」として尊重する教育を重視し、利用者の呼称等にも留意している。  <input checked="" type="checkbox"/>認知症高齢者等の権利に関しても十分な配慮を行う。</p>	<p>「利用者の権利」については、当法人の経営理念・ケア理念としても明文化されており、施設内の各所・機関に設置し提示しています。 スタッフ全員が守秘義務を守るよう徹底しています。</p>	<p>○</p>

## 2 事業の管理・運営

評価基準	注 釈	判定	
1 事業の理念や方針を明確にするとともに、職員に徹底していますか。	事業理念や方針は文書として明文化し、職員の目につく場所に掲示する等、職員に周知徹底するよう努めてください。	経営理念・ケア理念については明文化し、ユニット内の各所に掲示しています。 また、職員に対して経営理念・ケア理念・利用者の権利についての携帯用カードを配布し、周知徹底を行なっています。	○
2 事業の理念・方針に基づいた事業の達成目標・計画（中・長期）を定めていますか。	事業計画は、事業の理念・方針に基づくとともに、 ①中期・長期の運営の方針、 ②職員採用・研修計画、 ③施設・設備計画、 ④事業経営の方針及び計画、 ⑤部門別計画（処遇の方針及び計画、行事計画、防災訓練計画等）等を網羅してください。 計画の策定にあたっては、職員の参加を得て行ってください。また、目標や計画は職員に徹底するとともに、定期的にその達成度を測り必要に応じて見直してください。	年度ごとに事業計画を立案しています。 また、各種の委員会においても、1ヵ月に1回は委員会議を行い、記録として文章に残しています。	○
3 当該事業の予算・決算が適正に策定、公開され、また、運用されていますか。	以下の点に留意してください。 ☑当該事業予算は、事業計画と調整をとり、具体的計画に基づいて積算されている。 ☑当該事業予算は、適切な時期に、会計責任者、管理者において策定されるとともに、適切な機関（理事会等）において承認を受けている。 ☑決算書の作成及び監査が適切に行われている。 ☑当該事業予算について、閲覧の要請がある場合には、対応できる体制になっている。	前年度の実績・収支状況や今年度の事業計画に基づいた予算を積算し、理事会で承認を受けています。 又、法人監事による監査を受けています。	○
4 職員の人事管理を適正に行っていますか。	以下の点に留意してください。 ☑職員の資質向上を図るための人事方針が定められている。 ☑人事考課が明確かつ客観的な基準により行われている。 ☑職員の安全を確保するなど、各種の配慮がなされている。	職員の資質向上の為、資格取得に際しては施設内に衛星放送の介護チャンネルを設置する他、研究によるバックアップを行っています。 また、就業規定により資格取得による手当の支給、賞罰規定を定めています。 年2回の健康診断の実施、感染症予防の啓発、安全運転の啓発活動を行っています。	○
5 非常勤職員の処遇を適正に行っていますか。	非常勤職員の雇用にあたっては、労働基準法など他の関係法令を遵守し、適切に行ってください。	労働基準法をはじめとする関連法令を遵守し、短時間労働者の就業規定を定めています。	○

<p>6 職員研修について、研修体系を整備し、研修を計画的かつ定期的に行っていますか。</p>	<p>職員の資質向上を図るための研修は、専門性の付与、使命感の自覚、士気高揚といった面で効果があり、計画性を持って実施することが必要です。以下に例示される点に留意し、工夫を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑職員採用時研修、職場内研修を実施したり、都道府県や団体の行う研修計画を把握して、参加計画を立てている。</li> <li>☑外部研修に職員が参加した場合には、報告会を行う等、他の職員に還元させるよう努めている。</li> <li>☑外部研修だけでなく、事例研究会等の職員研修や勉強会が企画され、計画的に行われている。</li> <li>☑職場内訓練（OJT）を、職場の状況に応じ、適切な方法で実施している。</li> <li>☑認知症高齢者に対応するケア職員に専門教育をしている。（痴呆介護実務者研修、社会福祉関係職員研修等を受講する。）</li> </ul>	<p>研修委員会を設置しており、毎日の30分研修・連絡・報告会内にて認知症・ユニットケア・介護保険・医療・その他について講師を設定し月曜～金曜まで研修を行っています。また、採用時の新人研修、施設内における自主的な研修会、救急救命講習の受講等の外部研修に参加しています。さらに、外部研修へ参加した者は研修参加報告書を作成し、回覧を行い、全職員へ研修内容が共有できるように配慮しています。</p>	○
---	---	--	---

評 価 基 準	注 釈	判定	
<p>7 職員の調査研究の指導や研究発表を推進していますか。</p>	<p>職員の調査研究の推進は、研修の推進と同様に、専門性の向上、士気高揚、使命感の自覚といった面で効果があります。以下に例示される点に留意して工夫を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑外部の学会、研究会等への参加を促進する。</li> <li>☑調査研究の推進・指導体制を整備する。（研究会の定期的開催、外部講師・スーパーバイザーへの依頼等）</li> <li>☑施設内研究報告書、研究レポートを定期的に作成する。</li> <li>☑外部との共同研究や各種研究費申請を促進する。</li> </ul>	<p>研修会の案内及び参加への声掛け、助成を行なっています。また、ニッセイ財団の助成事業を行い、先駆的な事業の取り組みを行っています。</p>	○
<p>8 職員の専門資格取得を積極的に進めていますか。</p>	<p>資格取得のために、研修時の出張扱い、資格手当の支給の厚遇などの支援をしてください。</p>	<p>取得している資格に応じて手当での支給や資格取得に伴う昇給という形で優遇されています。</p>	○
<p>9 ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか。</p>	<p>以下に示すこと等を行い、工夫してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑専任の担当者を配置し、具体的な受入計画・研修・指導内容等のマニュアルを作成し、継続的な対応を行う。</li> <li>☑地域のボランティアグループや住民組織とも連絡・連携を持ち、その実施状況を記録に取りまとめる。</li> </ul>	<p>近隣地域との交流事業（お祭り等の参加）を行っており、又、地元の保育園児や小学生等の慰問も受け入れています。さらに、年に何度かはよさこい踊りや太鼓等、ボランティアグループの受け入れも積極的に行なっています。今年度は夏祭りの際にご家族に来て頂いたり、ボランティアをお願いするなどの取り組みも行っています。</p>	○

### 3 サービス提供体制

評価基準	注 釈	判定	
1 施設サービス計画の作成に当たっては、利用者を事前に訪問し、本人や家族のニーズ、生活環境等を十分に把握していますか。	実施状況を評価し、必要に応じて、適切に変更を行ってください。また、可能な限り、居宅における生活への復帰についても念頭に置いてください。	計画書作成の際は、施設に所属している介護支援専門員が入居者宅へ事前訪問を行ったり、又は来園して頂き、生活・心身の状況等の聞き取り調査を行っています。 定期的な見直しと状況に応じた見直しを行っています。	○
2 施設サービス計画を作成する際に、必要に応じ各種専門職の参加を得て行っていますか。	☑必要に応じて介護職、看護職、医師（主治医）、理学療法士、作業療法士等の参加を得てください。	施設サービス計画作成時には、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士、看護職員、ユニット主任、担当職員などが集まり、カンファレンスを行なっています。 必要に応じて、医師やPT・OTの意見を聞き取り、サービス計画に反映させることも可能です。	○
3 定期的又は必要に応じて利用者や家族から相談を受けたり、意見を聞く機会を設けていますか。	☑面接によるほか、利用者等からの意見を連絡帳やアンケートなどを活用して収集している。 ☑担当職員以外に、利用者等から意見を聞く担当者が定められている。	ご家族の意見については、面会時や電話等にて随時伺っています。 入居者からの訴えについては、担当者をはじめとして生活相談員・介護支援専門員なども毎日の生活の中から意見・相談を聞き、ケース記録に残し、ユニット会議等で改善に向けた検討を行なっています。	○
4 家族に対する支援体制ができていますか。	以下に示すような工夫を行ってください。 ☑利用者の状況について、家族に対して個別に報告する。 ☑家族支援の担当者を置き、利用者の状況に関して、家族が必要とする情報を必要に応じていつでも提供できるようにする。 ☑個々の利用者家族との連絡帳を作り活用する。 ☑家族への介護技術指導を定期的、又は必要に応じて行っている。	ご家族の面会時には必ず近況を報告しています。 また、生活状況に変化があった場合には、生活相談員、介護支援専門員、担当者より連絡を行なっています。 さらに、毎月の広報誌にて入居者の生活状況の連絡を行なっています。	○
5 サービスに関するマニュアル等を用意し、職員に徹底していますか。	マニュアル等の内容には、次の事項を盛り込んでください。 ☑サービス利用者・家族へのサービスの説明と同意 ☑職種ごとの業務分担（医療法上の禁止事項の遵守） ☑サービス内容の検討、決定、見直し ☑個々のサービスの具体的な事前準備、作業手順、留意事項等 ☑衛生管理、危険予防、非常時対応（利用者に事故や異常があった場合） ☑記録の作成と保管	各マニュアルを作成し、ユニットごとに配置し、職員に徹底を行なっています。	○

<p>6 定期的または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか。</p>	<p>報告がケース記録に記載され、会議録・研究会録等に保存され、さらに管理者まで報告がなされるしくみなどが重要となります。 また、ケアカンファレンスの際には、必要に応じて、スーパーバイザーをおいたり、利用者や家族の参加についても工夫してください。</p>	<p>ケアプラン作成時には、必ずケアカンファレンスを行い、文章として残しています。 カンファレンス開催時には入居者とその家族にも呼びかけを行っており、参加できない場合にも事前に意向について聞き取りを行い、ケアプランに反映させています。</p>	<p>○</p>
<p>7 利用者等から収集した情報を、よりよいサービスに結びつけるための工夫を行っていますか。</p>	<p>本人の同意を得た上でケアカンファレンスにかけたり、居宅介護支援事業者へ情報提供を行うなどの工夫をしてください。</p>	<p>新たな情報が収集された場合には、ユニット会議、カンファレンスを開き、サービス計画に反映されるように配慮しています。</p>	<p>○</p>
<p>8 感染症予防のための必要な対策を講じていますか。</p>	<p>以下に例示されるような点に留意し、工夫を行ってください。  <input checked="" type="checkbox"/> 感染対策マニュアル（手洗いの励行、エプロン等の使用・着替え等）を作成したり、職員に対して研修を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供前に職員の健康状態をチェックし、必要な対応を行うとともに記録している。  <input checked="" type="checkbox"/> 感染予防に関する研修を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族に対して感染予防に関する啓発普及を行っている。</p>	<p>感染予防に関するマニュアルについては、感染対策委員会を設置しており、マニュアルを作成し、ユニット・機関ごとに配布し、ユニットへの周知を徹底しています。 また、過去の発生時の反省点などを生かし、最新の情報収集や資料の配布、研修の開催により感染予防に努めています。 さらに、来園者に関してはうがい、手洗い、消毒を励行しています。</p>	<p>○</p>
<p>9 感染者に対して適切な対応がなされていますか。</p>	<p>以下に例示されるような点に留意し、工夫を行ってください。  <input checked="" type="checkbox"/> 感染者（例：かいせん・MRSA、結核、インフルエンザ等）に対する適切な処遇のために、マニュアルや対応事例集を作成している。  <input checked="" type="checkbox"/> 感染者に対する適切な対応法に関する研修を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 入院治療の必要がある場合などを除き、感染者のサービス利用を拒まない。</p>	<p>感染者の対応については各マニュアルに沿った対応がなされており、入居時の確認を元に感染者に対する対応方法についても研修会の場を設け、適切な対応をしています。 また、必要な医療機関との連携を図っています。</p>	<p>○</p>

#### 4 サービス提供内容

区分	評価基準	チェック項目	判定	
利用者の生活自立への支援	1 利用者に対して排泄自立のための働きかけをしていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 尿意や便意のある利用者には、おむつをあていても、ポータブルトイレやトイレで介助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 精神機能の低下している利用者には、声かけ誘導し、トイレでの排泄をうながしている。 <input checked="" type="checkbox"/> おむつの種類も数多く準備し、無理なく段階をおって排泄自立の働きかけができるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日中はできるだけおむつを使用しない配慮をしている。	排泄の取り組みについては、生活パターンシートの活用により、尿意・便意がある入居者のみならず、尿意・便意の訴えの無い、もしくは著しく感覚が薄れてきている方に対しても、本人の意向を尊重しながら、トイレ、ポータブルトイレでの排泄が出来るように援助しています。 また、多種多様のオムツを用意し、個々のライフスタイルに合わせ使用し、オムツはずしの取り組みにも繋げています。	○
	2 寝たきり防止が徹底されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 食事のときにはベット以外のところで食事をとるなど、寝・食分離が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日中は寝間着から日常着に着替えるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人の離床意欲をかきたてる工夫をしている。	入居者の身体状況を考慮しながら、食事やそれ以外の場合にも積極的に離床を行い、各ユニットのリビングや自室にて過ごしていただく等の寝食分離を徹底しています。	○
	3 一日の総臥床時間を減少させる努力がされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 日中は休養程度の臥床にとどめている。 <input checked="" type="checkbox"/> 長時間の離床が困難な利用者でも、何度もベットと車椅子の移乗介助を行い、寝たきりにならないようにしている。	毎食の前後を中心に午後の間食の時間等で離床の取り組みを行っています。 椅子に座ることが困難な方についてはモジュラー型車椅子の使用やロッキング・リクライニングチェアを使用しています。	○
	4 利用者の障害の形態により、自立生活のための自助具や補装具などが準備されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の障害を正確に把握し、個々のレベルに応じた自助具や補装具を用意し、それぞれのレベルでの自立生活ができるように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じてOTやPT等、専門職種との連携を図り、個別の対応、適した自助具・補装具の選択に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身機能が低下した利用者にも使いこなすことができる自助具であるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自助具等が使いこなせるよう、取り扱いについて、わかりやすく説明している。	本人の障害の程度などを考慮した構成であり、生活のあらゆる場面において、障害や個人、それぞれに適した支援を行っています。 必要に応じて法人内のOT・PTとの連携や医療機関でのリハビリなどにより、個人の自立支援を行っています。 自助具はポータブルトイレや歩行器などを障害に合わせて使用しています。 自助具について本人やご家族などへの提案や話し合いを行い、適切に使用できるように配慮しています。	○
	5 金銭や貴重品は自己管理できるように配慮されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の状態に応じた自己管理が可能なような工夫がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己管理のできない人であっても、金銭管理に対する機能維持に努めている。	個人の心身の状況や家族との検討も行い可能な方については自己管理して頂いています。 自己管理できない人であっても本人が希望すれば、買い物に出かけた際などには入居者本人により直接金銭の受け渡しを行なって頂く様にする等の配慮、働きかけを行なっています。	○

<p>6 利用者が居室以外でくつろげる場所がありますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家庭的な雰囲気のデイルームや談話室がある。  <input checked="" type="checkbox"/>食事以外でも気軽に使えるような食堂の雰囲気に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/>デイルームは多目的に利用することができるようになっている。  <input checked="" type="checkbox"/>静かな雰囲気で書籍等を読むことができる。</p>	<p>多目的スペースを整備し、テーブルや椅子、植物や本棚を設置し、入居者がくつろげる空間を作っています。          また、今後はクラブ活動を行ったりと活用の幅を広げていく予定です。          その他には各ユニットの廊下のスペースを利用するなどの工夫を行っています。</p>	<p>○</p>
<p>7 気軽に買い物ができるようになっていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>施設内に売店や販売コーナーがある。  <input checked="" type="checkbox"/>希望に応じて買い物に出かけることができる。</p>	<p>気軽に買い物ができる売店が施設内に常設している他、毎週金曜日に移動売店が来園します。          また、パン屋が来園したり、近隣商店へ自由に買い物に出かけたり、要望に応じて代理で購入する事で入居者のニーズに応えています。</p>	<p>○</p>



区分	評価基準	チェック項目	判定	
利用者の心身の状況や生活習慣等個別性に配慮	8 食事は美味しくたべられる工夫がされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の選択が可能になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者に食事の内容についてアンケートを実施したり嗜好調査を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭の食事時間に近い時間に提供するとともに、本人の希望する時間にも配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人に合った適温・形態（とろみ、きざみ食等）で提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食欲をそそるような盛りつけや色彩などに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着いて食べることのできる雰囲気作りを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食器に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 旬のものや地域の食材を利用している。	食事の選択制については取り入れていないが、嗜好調査のデータに沿っての提供を行い、個々の入居者に合わせた食事形態や好みに合わせた代用品での提供を行っています。 また、個々の希望やペースに合わせた食事時間に提供できるよう配慮しています。 食事の彩りには気を配っており、食器も陶器や漆の食器を使用し、主食の茶碗に関しては入居者の使用していた物を持ち込んで頂き使用しています。 茶碗・お椀・箸・スプーン・湯のみ茶碗等は統一された物ではなく、個々の状態等に応じて違うものを使用しています。 また、なるべくユニット内で盛り付けを行うようにし、本人に合わせた適切な量や嗜好品の多く提供できるよう工夫しています。	○
	9 食事介助は利用者の障害に応じた配慮がされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のペースに合わせるのに十分な介助の人員が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事介助の時の人員を確保するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害に応じた自助具等を用意している。	入居者のペースに合わせた十分な人員を確保して介助を行なっています。 自助具については、必要が生じればご家族と相談し、随時用意するようにしています。	○
	10 希望があれば入浴あるいはシャワー浴ができますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 入浴日以外でも、週に何度かは希望により入浴またはシャワー浴ができる。	浴室は3ユニットで4つ備えてある為、目安として週2回の入浴日を設定しているも、そのときの気分や訴えに応じて、入浴の回数を増やしたり、違う曜日に変更することが可能です。	○
	11 浴室の環境が整えられた中で、入浴が行われていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 複数のタイプの浴槽が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> ゆったり落ち着いて入浴ができるような雰囲気作りになっている。	個々の身体状況にあわせて、檜風呂・一般浴槽・個浴槽に入浴して頂き、ゆっくりとくつろいで入浴して頂けるようにマンツーマン（同性介助も可能）及び必要に応じて複数対応での入浴介助を行なっています。	○
	12 入浴時の安全が確保されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒防止に配慮されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴介助に必要な人員を確保している。	床は滑りにくい物を使用している。又、浴室用車椅子やマットを使用。マンツーマンでの入浴介助が基本だが、状態に応じて複数対応を行なっており、安全に配慮しています。	○
	13 深夜早朝のおむつ交換を工夫していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 深夜、早朝の交換では、安眠を妨げない配慮をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 排泄量が多く交換が必要な利用者や、訴えのある利用者には、いつでも実施している。	夜間、排泄時の照明は必要最低限に留めています。 また、安眠を妨げないよう配慮しているが、必要最低限の声掛けは行なっています。 訴えのある利用者に関してはいつでも交換を行っています。	○

<p>14 排泄記録が作成され、健康管理その他の面で活用されていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個別の排泄記録が作成され、排尿・排便の状況が把握できる。  <input checked="" type="checkbox"/> 必要があれば医療スタッフと連携し、排尿・排便を促す方法をとっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 排泄物に異常がないか確認し記録している。</p>	<p>センター方式の生活パターンシートにて排泄の記録がなされており、毎日の排尿・排便の状況が一目でわかるよう一覧化されています。          また、排泄物に異常が見られた場合には、医務との連携を図り、適切な対応が出来るような仕組みが整っています。</p>	<p>○</p>
<p>15 便秘の人に対して配慮していますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 活動的な生活に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士とも連携し、食事面の配慮にもつなげている。</p>	<p>便秘の対応だけでなく、栄養士による食事面での配慮、水分提供や適度な運動を促し、予防にも努めています。          また、排泄を促す時間帯にも配慮しています。</p>	<p>○</p>
<p>16 レクリエーション等のプログラムが用意されていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> グループで行えるプログラムが複数ある。  <input checked="" type="checkbox"/> 個人にあったプログラムを用意して、自由に選択できるようにしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 廃用防止のためのプログラムが用意されている。</p>	<p>機能訓練指導員により個別のプログラムを計画し実施しています。          また、毎週一回入居者同士で集い、楽しめる場も提供しています。</p>	<p>○</p>
<p>17 利用者がレクリエーション等に、積極的に参加できる工夫をしていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 趣味や興味に合った組み合わせで提供している。  <input checked="" type="checkbox"/> 個々の身体状況に合わせた場所や時間を設定している。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活の中で、レクリエーションへの関心が高まるような働きかけをしている。  <input checked="" type="checkbox"/> レクリエーション活動を行う技術がある担当職員がいる。</p>	<p>スタッフが中心となり、プログラム内容の検討を行い、個々に応じたプログラムの設定は行なっています。          内容としては、書道・塗り絵・カラオケ・風船バレー・軽スポーツなどがあります。</p>	<p>○</p>
<p>18 個々人に合った整容が行われていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 髪型は一様ではなく、常に利用者の好みや希望を聞き、個性に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 希望に応じて理美容室を利用することができる。  <input checked="" type="checkbox"/> 爪や耳の手入れだけでなく、フットケアにも配慮している。</p>	<p>入居者の訴えやご家族の要望をもとに整容を行っています。          訴えることのできない入居者についても、個々の特徴を生かした整容を行っています。          理美容室に関しては、希望があれば、翌週の月曜日に来園して頂き、散髪を行なうことができます。          また、フットケアとして、機能訓練指導員によるマッサージやフットスパを取り入れています。</p>	<p>○</p>

区分	評価基準	チェック項目	判定	
心身の状況や生活習慣等個別性に配慮	19 利用者の着衣に配慮していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の好みや習慣に応じ、自由に衣類の選択をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思の確認がとれない利用者にも、個性を尊重した着衣に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害に応じた衣類のリフォームを行っている。	<p>在宅生活時と変わらぬものを持ち込んで頂き、個人に選択してもらうことができます。</p> <p>意思疎通の図れない入居者にも生活背景や趣味を考慮し、またご家族より聞き取り持ち込みをして頂き支援しています。</p> <p>本人の障害に応じた衣類の購入や仕立て直しの支援を行っています。</p>	○
	20 酒や煙草を楽しめる環境に配慮していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 飲酒は、本人の健康状態を勘案し、他人の迷惑にならないように時間や場所を決めるなどして、楽しむようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 煙草は、他人の迷惑にならないよう喫煙場所を設ける等している。 <input checked="" type="checkbox"/> 煙草の吸い殻を異食することがないように配慮している。	<p>飲酒・喫煙に関しては、看護職員と相談の上、場所を決め適量を提供しています。</p> <p>まず、喫煙中は火災や火傷の事故防止のため、必要な方に関しては付き添いを行い、飲酒は訴えは無いもののご家族からの聞き取りや希望により提供実施し、その後の体調の様子を観察し、安全面にも配慮しています。</p>	○
	21 家族が宿泊したり利用したりできる部屋がありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等と宿泊したり、一緒にすごすことのできる部屋が用意されている。	<p>ご家族の面会時にはデイルームやリビング、居室等の場所を提供しています。</p> <p>施設内・外に宿泊できる場所があり、ご家族の希望によりいつでも利用して頂く事ができます。</p>	○
利用者の人権・意思等の尊重	22 居室やデイルームは、快適な生活を送ることのできる環境になっていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 家具の配置などに注意している。 <input checked="" type="checkbox"/> なじみの深いものを持ち込めるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 採光や照明に配慮している。	<p>居室には、入居者が使用していた家具など、馴染み深い物を持ち込みが出来るようになっており、ご家族にも働きかけています。</p> <p>また、安全で落ち着ける配置を行っています。</p> <p>採光もカーテンにより調節可能です。</p>	○
	23 私物収納スペースは用意されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 私物収納は、利用者のある程度の希望に添える広さがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭を保管する施錠できる棚などがベットサイドなど身近にある。	<p>居室内には収納スペースが用意されており、扉に鍵がついている為、施錠することもできます。</p> <p>また、希望により鍵を渡すことも可能ですが、マスターキーをユニット保管するなどして安全面には配慮しています。</p> <p>また、必要な方には金庫も貸し出ししています。</p>	○
	24 匂いの問題をなくすために工夫をしていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 脱臭設備が整っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こまめに空気の入換えをするなど配慮している。	<p>窓の開閉による換気や換気扇を完備しています。</p> <p>また、必要に応じて消臭剤や芳香剤等も使用しています。</p> <p>更に排泄物の持ち出しの際もトートバッグ使用の元、中身をビニール袋に入れて、縛り対応しています。</p>	○

<p>25 外部と通信しやすい工夫をしていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公衆電話やベットサイドの電話の設備等について配慮している。</p>	<p>個室に電話線は引いていない。個々への対応としては本人の希望により携帯電話を使用している方もいます。 また、その他の方に関しては、事務所や本館等の外線が繋がるところで利用してもらったり、事務所スタッフに繋いでもらうなどして対応しています。</p>	<p>○</p>
<p>26 テレビや新聞、雑誌等から知りたい情報を自由に得ることができますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室だけでなく、自由に見ることのできるテレビをロビー等に複数配置している。 <input checked="" type="checkbox"/>自由に閲覧できる新聞や雑誌を多く取り揃えている。 <input checked="" type="checkbox"/>視覚障害の利用者には、朗読や代読等で情報を提供している。</p>	<p>テレビについては、リビングなどの各所に設置している。希望により居室への設置も行っています。 また、雑誌・新聞については希望者のみ個人購入となっており、常時閲覧可能な状態の雑誌・新聞の購入についてはユニット費にて補っています。</p>	<p>○</p>
<p>27 プライバシーが守られていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>個室以外の居室でも、プライバシーに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/>トイレや脱衣所を使用しているも、廊下から見えないように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/>排泄介助時にカーテンを引く等、プライバシーに気を配っている。 <input checked="" type="checkbox"/>おむつ交換等の匂いに気を配っている。</p>	<p>個室以外の居室にもカーテンを設けて仕切りをつけ、プライバシーが守られるように配慮しており、トイレや脱衣場にはカーテンや暖簾が設けられ、プライバシーは守られています。 また、換気を行いにおいにも気を配っています。</p>	<p>○</p>
<p>28 利用者とのコミュニケーションに配慮していますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常会話の不足している利用者に対しても配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/>利用者の話に耳を傾けるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/>障害に応じたコミュニケーションの手法を用いている。</p>	<p>ユニットスタッフの固定配置により、入居者の障害や個性の把握や信頼関係の構築により、個々の状態に応じたコミュニケーションが図れるよう配慮している。自ら他者とのかかわりを持つ機会が少ない方には興味のある話題を提供しています。</p>	<p>○</p>
<p>29 言葉使いは適切ですか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>自尊心を傷つける言葉を使用しないよう、常に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/>職員がお互いに言葉使いを確認し合っている。</p>	<p>ユニット理念において利用者の権限について明記し、職員に周知しています。 言葉遣いについてはスタッフ間でもお互いに注意をし合い、入居者の自尊心を傷つけないように配慮しています。</p>	<p>○</p>
<p>30 会話等を行う場合、利用者のペースが守られていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切な声量、言葉の速度に注意している。 <input checked="" type="checkbox"/>いつでも手紙の代筆や代読を行っている。</p>	<p>入居者個々の状況に応じて会話の速度や声量に配慮しています。また、手紙など希望時や必要時には、いつでも代読・代筆しています。</p>	<p>○</p>

区分	評価基準	チェック項目	判定	
利用者 の 人 権 ・ 意 思 等 の 尊 重	31 認知症高齢者が落ち着いて暮らせる環境に配慮していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 小グループによるユニットケアを行う等、スペースを有効に活用している。	PEAP（認知症高齢者の為の環境指針）を用いてリビング・居室・廊下スペースの家具の配置や装飾において認知症高齢者が安心して、自立して生活できるよう環境整備を継続して行っています。	○
	32 「行動の障害」とされる行動の観察と原因の分析を行い、適切な対応が行われていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 障害となっている行動の記録が整理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録を基に、分析や対応方法を検討している。 <input checked="" type="checkbox"/> その行動そのものをなくそうとするのではなく、環境を整備したり受容的な態度で行動を受け止めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 見当識障害に対する環境の配慮がされている。	ケアプランに沿ってケース記録を残し、カンファレンス等で問題点を提示して対処方法を検討しています。 また、失見当障害のあるお年寄りでも、部屋の位置、トイレの場所が用意に認知できるよう目線の高さに看板、標識を設けています。 ヒヤリハットの作成にて、事故についてのリスク回避の検討も行なわれています。	○
	33 認知症高齢者に対する、生活障害に配慮したプログラムがありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症高齢者の能力を評価し、その利用者の生活に活かされるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 身体機能だけでなく、情緒などの精神安定に働きかけるプログラムがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症高齢者への援助指針と各種（個別・集団）介護プログラムが確立されている。	ユニットスタッフが中心となり、入居者が関心があるプログラムを取り入れて行き、精神・身体面の安定・向上を図っています。 今後は更にプログラムの種類を増やし、入居者の心身の状況にあわせ、関心が持て、過去の生活に根ざしたプログラムを模索し提供する等、更に進んで改善する余地もあると考えます。	○
	34 抑制や拘束の禁止の原則が徹底されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 常に、抑制を行わなくても済むような工夫に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 切迫性、非代替性、一時性の3つの要件を満たした上で、最低限の抑制や拘束を行わなければならない場合には、次の点を厳守している。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設サービス計画に明記し、家族等の同意を得た上で行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 内容についての詳細な記録を残している。 <input checked="" type="checkbox"/> なぜ、抑制を行わなければならないかについて、明確に説明することができる。	抑制・拘束は行っていない。家具・寝具の高さや角度、手すりの設置の他、リスク管理委員会を設置し、研修への参加や身体拘束に関する理解の徹底と対応策の検討を行う体制が整っています。	○
4 医 学 的 管 理	35 健康上の必要から、食事に配慮が必要な人に対して、適切な食事が提供されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士が医療スタッフと連携・調整を行い、個別の疾病に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 歯痛・発熱等の一時的・突発的な状況にも、すぐに心えられるような配慮がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食欲不振時には、本人の嗜好を最大限考慮した献立を提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 褥瘡等のある利用者には栄養面からの治療に向けた配慮をしている。	担当者・ユニット主任・管理栄養士、看護職員の間で連携を図り、個別の疾病に対応できるような仕組みとなっています。 また、食欲不振時には、本人が好むものを提供する等配慮がなされています。	○

<p>36 利用者の健康状態に関して、利用者や家族にわかりやすく説明し理解を得ていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の家族へ記録の送付を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/>必要な人には健康状態の説明の機会を設けている。</p>	<p>面会や電話連絡、毎月発送されている広報誌にて近況の報告もおこなっています。          健康状態に変化のある方に対しては随時連絡を取り、説明の機会を設けています。</p>	<p>○</p>
<p>37 感染症（かいせん、MRSA、結核、インフルエンザなど）に対する対策は検討されていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>施設内感染マニュアルが備えられ、適切に励行されている。  <input checked="" type="checkbox"/>必要な手洗器等が設置されている。  <input checked="" type="checkbox"/>入院治療の必要がある場合などを除き、感染者の回避や追い出しがない。</p>	<p>感染対策委員会を設置しており、施設内感染マニュアルが整えられています。          また、感染症予防のため、手洗い・うがいの励行が行われています。          また、定期的な研修にて周知徹底を図っています。</p>	<p>○</p>
<p>38 十分な体位変換は定期的に行われていますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>体位変換が必要な人が日々確認されている。  <input checked="" type="checkbox"/>時間を決めた体位変換（概ね2時間を基準）を行うようにしている。  <input checked="" type="checkbox"/>個人の日課表に基づいた体位交換とその実施記録が整理されている。</p>	<p>自力では体位交換の出来ない入居者に対しては、二時間を目安として体位交換を行っています。          また、安定を考慮しクッションの使用も行っている。記録もきちんと整理されています。</p>	<p>○</p>
<p>39 利用者の睡眠状況、食事摂取の状況、排泄等の状況を把握していますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者ごとに状況が適切に記録され、看護介護職員等の情報伝達が適時実施されている。</p>	<p>個々のケース記録・看護記録をつけており、ユニット内において引継ぎを行い、確実に周知しています。</p>	<p>○</p>
<p>40 服薬者に対する与薬管理は適切ですか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者ごとに服薬のチェック、薬歴管理を行い、一括手渡しではなく、服用毎に配布するなど、配慮している。</p>	<p>投薬は看護職員により毎食ごとに配布しており、たとえ自分で服薬が可能な入居者であっても必ず見守りを行い飲み忘れがないように配慮しています。</p>	<p>○</p>

区分	評価基準	チェック項目	判定	
4 医学的 管理	41 個別援助プログラムの中に、機能訓練を位置づけ、ケースごとに立案（評価・目標設定・実施計画）を行っていますか。 また、定期的にケース検討を行い、計画の見直しを行っていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> ケースごとに、日常生活の中での機能訓練の課題や方法が明らかにされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画を作るに当たって、関連ある複数の担当者（専門職を含む。）でケース検討を行っている。	個別リハビリ計画書を作成し、それを元を実施している。又、実施した日にはケース記録に残している。定期的に機能訓練指導員やユニット主任、担当者が集まり、ケース検討を行い、計画の見直しや話し合いを行なっている。	○
	42 口腔ケアは適切に行われていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 起床、就寝時だけではなく食後など、必要に応じて口腔清潔が保たれている。 <input checked="" type="checkbox"/> 義歯の手入れなど管理が適切に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 唇の乾燥を防ぐ配慮をしている。	食後にうがい・歯磨き・口腔内清拭・義歯洗浄等の口腔ケアを行っている。又、必要に応じて舌ブラシを使用し、口腔清潔に努めている。	○
	43 内科・外科・精神科・歯科等、協力医療機関と十分な連携がとれ必要な時に適切な措置を講ずるようにしていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 内科・外科・精神科等必要な医療機関と、協力契約を交わしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歯科と協力契約を交わしている。	複数の医療機関と協力関係を結んでおり、必要に応じて入院・通院が可能である。	○
	44 医療機関への入院に関して利用者や家族と相談していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 入院に関しては、状況を利用者・家族などに説明し、合意のもとに行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急の場合は、事後に担当の専門職員が家族に経過、状況について連絡をしている。	入院の必要が生じた場合は、生活相談員、ユニットスタッフより家族に連絡を行い、合意の上で手続きを行っている。又、緊急時においても契約者の携帯電話や第2連絡先へ速やかに連絡を取っている。経過状況については継続して事後に連絡を行っている。	○